

プラスチックごみの海洋流出をくい止めよう！ 海岸クリーンアップ大作戦

北九州市プラスチックスマート推進事業の一環として大規模海岸清掃を実施します。

世界的に問題となっているプラスチックごみによる海洋汚染を防止するため、大規模な海岸清掃を実施します。

自然海岸を清掃し、プラスチックごみをはじめとした様々なごみを回収することは、陸域から海洋へのごみの流出を防止することになり、海の豊かさを守り、私たちを取り巻く自然環境を守ることに繋がります。

環境汚染から自然を守り、豊かな自然を未来に残すため、今年も昨年に引き続き、青浜海岸において海岸清掃を実施します。昨年の海岸清掃では、113名の市民の方が参加し、約8,000本のペットボトルを回収しました。

今回も多くの皆さまにご参加をいただき、海岸漂着ごみの回収を行う中で、プラスチックごみ問題について考える契機としていただきたいと思います。

つきましては、下記事項についてご周知を賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 実施日 令和元年11月3日(日) 9:30~11:00 (9:00 受付開始)
- (2) 主催 北九州市
- (3) 内容 プラスチックごみ等の海岸漂着ごみの清掃活動を実施します。
※第21回日中韓三カ国環境大臣会合(TEM21)関連イベントとして実施。
- (4) 場所 青浜海岸(門司区大字白野江)
※ 少雨決行。雨天の場合は翌日に順延。
- (5) 参加団体 一般市民、企業
- (6) 参加者数 150名(予定)

青浜海岸の様子



青浜海岸 (清掃区域)



2018年11月21日

1:13,172 0 185 370 740 m

- ①ゼンリン住宅地図を印刷・コピーしたものは、ライセンスの規約上、市民や業者等に渡すことは出来ません。
- ②この出力図面は、職員の業務参考情報として提供するものではありません。
- ③記載されている情報は、権利等を保証するものではありません。
- ④市民や業者に印刷・コピーしたものを渡すと権利等を保証したものと勘違いされトラブルになる恐れがあります。絶対に渡さないでください。
- ⑤各マップの使用制限事項に十分留意してご利用ください。

(C) Esri | Japan 北九州市

海洋プラスチック問題の 現状と解決に向けた アプローチ

日英同時通訳あり

海洋プラスチックごみ管理
国内外の取り組みと
官民連携について

主催：世界銀行東京開発ラーニングセンター
北九州市
協賛：公益財団法人地球環境戦略研究機関

2019年11月13日 (水)

14:00 - 18:00 (13:30開場)

北九州国際会議場 メインホール

北九州市小倉北区浅野3丁目9-30

定員/参加費
500名/無料



当シンポジウムは
事前申込制です

問い合わせ☒ : oceanplastic2019@worldbank.org

☎ : 093-582-3804 (北九州市環境国際戦略課)

国際シンポジウム 「海洋ごみと海洋プラスチック問題解決に向けた課題とアプローチ」

本年6月に開催されたG20大阪サミットにおいて、2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロとすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。これに関連し、日本政府は、世界全体の実効的な海洋プラスチックごみ対策を後押しするため、「マリーン(MARINE)・イニシアティブ」を立ち上げました。

その一方で、国によってプラスチック製品の製造、使用、再利用・リサイクル、適正処理の状況や課題が異なることから、各国／都市レベルの政策立案者は、自国の状況を把握するとともに、関連する利害関係者と課題や取組事例を共有しながら、独自の課題解決策を模索することが求められています。

本シンポジウムでは、海洋プラスチックごみの回収やリサイクルに係る国内外の取組の最新動向を紹介するほか、効果的な官民連携のあり方を議論します。

海洋プラスチックごみ削減に向けて、私たち一人ひとりのプラスチックとのつきあい方を見直す機会にしたいと考えています。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

(10月21日現在)

オープニング (14:00~14:10)

- 主催者挨拶 世界銀行、北九州市

基調講演 (14:10~14:55)

- 世界銀行 主席知識管理担当官 フィリップ・カーブ
主任環境エンジニア シルパ・カザ
- 環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋環境室 室長補佐 飯野 暁

パネルセッション①：海洋プラごみ管理における国内外の課題と取組 (14:55~16:15)

*モデレーター：世界銀行 防災減災ファシリティ事務局長 フランシス・グスキエール

*パネリスト (調整中)

- 一般社団法人JEAN (Japan Environmental Action Network)
- JICA(国際協力機構)
- インドネシア共和国海洋担当調整省
- 米国海洋大気庁
- 世界銀行
- 北九州市

パネルセッション②：海洋プラごみ管理における官民連携 (16:30~17:55)

*モデレーター：地球環境戦略研究機関(IGES)北九州アーバンセンタープログラムディレクター 林 志浩

*パネリスト (調整中)

- 日本環境設計株式会社
- 廃棄プラスチックをなくす国際アライアンス (AEPW)
- 世界銀行

*コメンテーター

- 環境省水・大気環境局
- 北九州市 (調整中)

閉 会 (17:55~18:00)

第 21 回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM21）の開催について

令和元年 10 月 18 日（金）

第 21 回日中韓三カ国環境大臣会合（TEMM21）を、11 月 23 日（土）、24 日（日）に開催することとなりましたのでお知らせいたします。

1. 目的：

日中韓三カ国環境大臣会合(TEMM※)は、北東アジアの中核である日本・中国・韓国の三カ国の環境大臣が一堂に会し、本地域及び地球規模の環境問題に関する対話を行い、協力関係を強化することを目的に、1999 年(平成 11 年)から毎年各国持ち回りで開催しています（昨年 6 月に中国・蘇州で開催）。

※TEMM：Tripartite Environment Ministers Meeting の略称

2. 日程（予定）：

11 月 23 日（土） バイ会談、北九州市主催歓迎レセプション
11 月 24 日（日） 日中韓三カ国環境大臣会合
共同コミュニケ署名式、共同記者会見

3. 開催場所：福岡県北九州市

4. その他

TEMM と併せて、ユースフォーラム、日中韓環境ビジネス円卓会議及び脱炭素都市構築に向けた日中韓共同研究が実施される予定です。

なお、これまでの TEMM の開催概要については、以下のウェブサイトを御参照ください。

・ TEMM 日本語解説サイト

http://www.env.go.jp/earth/coop/temm/introduction_j.html

環境省地球環境局国際連携課
国際協力・環境インフラ戦略室
直 通：03-5521-8248
代 表：03-3581-3351
室 長：杉本 留三(内線 6765)
補 佐：野本 卓也(内線 7782)
補 佐：日下部和宏(内線 6764)